

事前のお知らせ



水害発生に備えた実践的水防訓練！！

～平成26年度 練馬区総合水防訓練を実施～

と き 5月11日（日）午前10時から正午

ところ 区立びくに公園多目的広場（練馬区東大泉2-28-31）

11日、これから迎える梅雨や台風シーズンを迎えるにあたり、災害対応力の向上を図ることを目的に『平成26年度練馬区総合水防訓練』を実施する。

毎年、区民や防災関係機関などから約1,000人が参加。この訓練を通じて、各防災関係機関や参加団体同士の連携を強化し、迅速かつ確実な災害対応体制を構築するのが狙い。会場では、土のう積みなどの浸水防止工法訓練、浸水箇所から可搬ポンプでの排水訓練、石神井川の増水により浸水した家屋・車両に取り残された人の救助など、実践さながらの訓練が行われる。

また、はしご車の搭乗体験やパトカーや白バイの展示、ミニ防火衣の着用、ブロワー車による強風を体験できるコーナーなどを設置。区担当者は「参加団体の連携を強化するとともに、区民の皆さんに、風水害への備えについて関心を持ってもらうことがとても重要なこと。今回の訓練に多くの方に参加してもらい、関心を持ってもらう機会になれば」と話している。



【土のう積み訓練(昨年の様子)】

■訓練の想定

都内西部を中心に局地的な集中豪雨が発生し、都内の各中小河川では急激に水位が上昇。石神井川でも警戒水位を超え、道路冠水や住宅、地下室への浸水被害が多数発生している。

■訓練の進行

①集中豪雨の影響により、浸水の危険が発生した住宅に対し、可搬ポンプによる排水活動を実施。

②河川の氾濫に備え、土のう袋の積み上げなどの浸水防止工法の実施。

③河川の水位的上昇と今後の雨量予測から、区は避難勧告を発令。

警察の広報・誘導のもと、地域住民を避難所まで誘導。

④土砂崩れにより、住宅が倒壊するとともに、車両が土砂に埋まってしまふ被害が発生。救助犬による捜索により、発見した被災者を救助。



【車両からの救助訓練(昨年の様子)】

■関係機関の展示・体験コーナーも充実。風水害への対策をPR！

会場には関係機関による、各種展示パネルや模型などの展示コーナーのほか、区内で行われる訓練では初めて、ブロワー車（火災時の煙や有毒ガスを拡散させる大型のファンを搭載した車両）を活用した強風を体験できるコーナーも設置する。

このほか、はしご車の搭乗体験、パトカーや白バイの展示、ミニ防火衣の着用や、練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」や、消防署のマスコットキャラクター「キュータ」との写真撮影コーナーなども開設する予定。



【はしご車搭乗体験(昨年の様子)】

【関係機関・参加団体】

練馬区・消防署・消防団・消防署の災害時支援ボランティア・警察署・東京都下水道局・日本救助犬協会・練馬土木協会・東京都防災救急協会・東京電力株式会社・東京ガス株式会社・株式会社西武鉄道練馬駅・大泉特別養護老人ホーム・特別養護老人ホームやすらぎミラージュ・特別養護老人ホーム豊玉南しあわせの里・区民（町会・自治会・防災会・一般参加など）

【問い合わせ】危機管理室 防災課 区民防災第二係 電話 03-5984-2605